

PET 検査の保険適用について

< 保険適用の概要 >

当院での FDG-PET 検査は、日本メジフィジックス社より供給される「FDG スキャン注」という検査薬を使用して施行いたします。この薬剤につきましては、次の表に定める要件を満たす場合に限り保険適用されます。当院での FDG-PET 検査は、悪性腫瘍の検査及び大型血管炎について実施させていただきます。なお、悪性リンパ腫における治療効果判定が保険適応となりました。

膵癌	他の検査、画像診断により癌の存在を疑うが、 膵癌と腫瘍形成性膵炎と鑑別 が困難な場合、あるいは、他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない場合の診断。
肺癌 乳癌 大腸癌 頭頸部癌 転移性肝癌 その他悪性腫瘍 (早期胃癌を除く)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない場合の診断。 (1) 病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている患者であること。 (2) 上記が困難である場合には、臨床病歴、身体所見、PET あるいは PET/CT 以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察、などから、臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される患者であること。
大型血管炎 (高安動脈炎・巨細胞性動脈炎)	高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者に使用する。
原発不明癌	リンパ節生検、CT 等で 転移巣を認め 、かつ、腫瘍マーカーが高値を示す等、原発巣の不明な場合の診断。

※上記の表での「画像診断」とは、おもに CT、MRI、一般撮影、超音波、注腸、マンモグラフィーなどです。

<保険適用のポイント>

(1) 術前検査や病期診断の場合

- ・ 癌における治療前の転移の検索や病期診断は、保険適用が可能です。
- ・ CT、MRI 検査などの画像診断が実施されていることが必要条件となります。

(2) 転移・再発診断の場合

- ・ CT、MRI 検査などの画像診断が実施されていることが必要条件となります。単なる経過観察だけでは、保険適用にはなりません。必ず「転移を疑う」や「再発を疑う」という言葉を記載してください。

(3) その他

- ・ 悪性リンパ腫以外の化学療法や放射線治療などの治療効果判定は、保険適用にはなりません。
- ・ 癌のスクリーニングは、保険適用にはなりません。
- ・ 同一月内にガリウムシンチ検査が行われている場合も、保険適用とはなりません。
- ・ 腫瘍マーカーが高いだけでは、保険適用にはなりません。

●下記の表は悪性腫瘍の PET 検査における保険適用一覧となります。

疾患	鑑別診断	病期診断	転移・再発の診断	原発巣の検索
肺癌 乳癌 大腸癌 頭頸部癌 転移性肝癌	×	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	×
膵癌	○ (膵癌と腫瘍形成性膵炎との鑑別)	○	○	×
原発不明癌		○	○	○
その他の悪性腫瘍(早期胃癌を除く)	×	○	○	×